

勇

いさみ

知之

ともゆき

本賞



概要

氏名 勇 知之  
 推薦団体 熊本県文化協会  
 主な活動地 県内各地

これまでの主な活動歴

- 昭和四十六年 荒木精之主催の文芸誌「日本談義」同人となり活動を始める
  - 昭和五十年 県文化懇話会・県文化協会会員となる
  - 昭和五十六年 県文化懇話会常任世話人・県文化協会常務理事
  - 昭和五十七年 「植木町史」発行
  - 昭和四十四年 日本ペンクラブ会員
  - 平成十一年 植木町文化協会会長（八年間）
  - 平成二十八年 信友社賞受賞（文化部門）
- 役職
- 熊本県文化懇話会世話人
  - 熊本県文化協合理事

勇知之氏は、昭和四十六年から長きにわたり、主に熊本

本の歴史を研究し、作品を通じて普及活動を行っている郷土史家・小説家です。

昭和四十六年に荒木精之氏主催の「日本談義」の同人となり、これまでに「西南の役」関連等、史実に基づいた郷土史や小説を三十冊出版されています。

また、県内各地の公民館等で「郷土史講座」を開催するほか、全国各地からの招へいに応じ講演活動を行うなど、熊本

の歴史・文化の普及活動や、後進の指導にも努めておられます。さらに、故郷の植木町（現在は熊本市植木町）にあつては、町史編纂委員として町史発刊に携わり、町の文化財保護委員や文化振興アドバイザーを歴任するなど指導力を発揮し、地域の文化振興に貢献されています。

このように、氏は、本県の史実を深く研究し、その普及啓発活動を通じて、本県の文化振興に大きく貢献されています。